正しく表示されない場合は、ブラウザで表示させてください。

ICRC

赤十字国際委員会 ニュースレター

特集号

気候変動特集



紛争地域における気候変動対策

10月31日から11月13日の14日間にわたり、イギリスで開催された国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）。世界では、気候変動絡みの災害によって少なくとも１億3,900万人の暮らしに深刻な影響が及んでいて、最も影響を受けやすい25カ国のうち、14カ国は紛争下にあります。

記事では、マリやブルキナファソなどを例にあげて、増大する人道ニーズや社会システムの弱体化について触れています。

詳細はこちら



赤十字から世界のリーダーへ：５つのお願い

私たちは、気候変動の問題に立ち向かうために、COP26を前に世界のリーダー達に対して、紛争と気候変動の二重苦と闘っている人々を見据えた対策と支援の強化を訴えました。

声明全文はこちら



「人道団体のための気候・環境憲章」に署名を！

2021年５月にICRCと国際赤十字・赤新月社連盟が採択した「人道団体のための気候・環境憲章」。７つの公約を盛り込み、世界中の人道団体に署名を呼びかけています。記事では、憲章の必要性や作られたプロセス、署名期限などに関するQ&Aも紹介しています。

憲章の詳細はこちら

紛争の現場から



ソマリア：
失われていく遊牧民のライフスタイル

30年以上武力紛争が続くソマリアでは、紛争などにより300万人近くが避難民となり、人口の75%が１日２ドル（約230円）以下での生活を強いられています。紛争に加え、追い打ちをかけるのが気候変動の問題。ソマリアの人々は３人に２人が遊牧民として暮らしていますが、昨今の厳しい気候事情で、伝統的な生活様式を放棄せざるをえなくなっています。記事では、気候変動の影響を受けた遊牧民たちの現状と彼らの声を、フォトギャラリーとしてご覧いただけます。

フォトギャラリーはこちら

駐日代表部だより



10月２日に開催されたオンラインイベントでは、ジャーナリストの国谷裕子氏をモデレーターに据えて、現地とつなぎながら、５名のパネリストとともにアフガニスタンの最新の情勢、日本の私たちに何ができるのかについて議論しました。

パネリストの一人であるアフガニスタン人のシュクルラー・ジーラックは、「私たちにも希望を持つ権利がある。将来は暗澹としているが、国際社会がアフガニスタンを忘れないでいれば、唯一そこに希望を見出すことができる」と訴えます。動画（日本語）も視聴いただけます。

イベントリポートはこちら



ICRCインターン募集（11月30日締め切り）

ICRCでは現在、広報インターンを募集しています。広報でのインターンは、ICRCの活動を深く知ることができるだけでなく、紛争地の現状を知り、そこに暮らす人々の声を届ける役割も担います。国際情勢や紛争地での人道支援に興味のある方は、ぜひ一緒に働いてみませんか？

募集要項はこちら



インターン体験記：三上知香さん

2021年４月から８月までの４カ月間、広報インターンとして勤務した三上さん。留学中のフィンランドから体験記が届きました。インターンの業務内容や、学んだこと、インターンを考えている人たちに向けたメッセージを送ってくれました！

体験記はこちら

その他のニュースはこちら

© 2021 INTERNATIONAL COMMITTEE OF THE RED CROSS

配信停止をご希望の方は、お手数ですがこちらよりお手続きください。
ICRC駐日代表部のプライバシーポリシーはこちらでご確認できます。

INTUIT mailchimp